

Canon

Autoboy juno



はじめに

基本編

応用編

資料編



J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

こんな特徴があります



38mm

38mm～60mmの高画質
1.6倍ズームレンズ

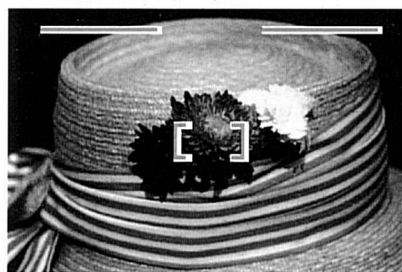


60mm



中抜けしにくいAiAF

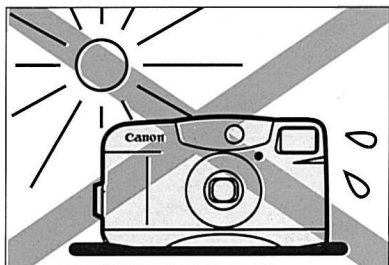
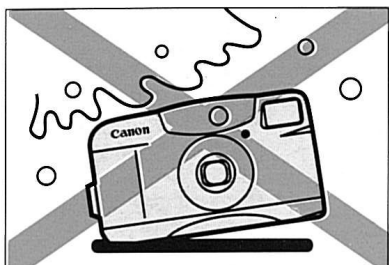
5点測距AiAFと、写したいものの距離を2つのセンサーで検知する3眼AFで、シャープな写真を撮ることができます。



見やすい大きな ファインダー

のぞきやすく、しかも写したいものがはっきり見える実像式のビッグファインダーです。

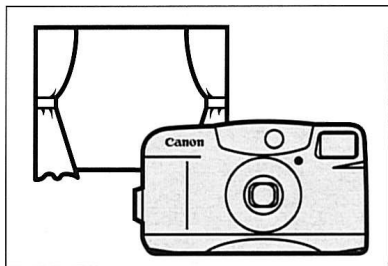
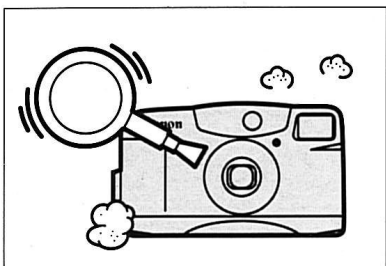
取り扱い上のご注意



はつめい

- このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。
- 水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。

- 直射日光があたる車の中は予想以上に高温になります。このようなところにカメラを放置しないでください。カメラの故障の原因となることがあります。
- カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に分解しないでください。



- レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のブローブラシで吹き飛ばすだけにしてください。
- カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。

- カメラを長時間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、基本編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

■本文中のマークについて



カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。



カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれています。

はじめに






こんな特徴があります	2
取り扱い上のご注意	3
目次	4
操作早わかり	6
各部の名称	8

基本編

カメラに慣れよう	10
①電源を入れる、切る	10
電池をチェックする	11
②ファインダーをのぞく	12
③写したいものの大きさを決める	13
④シャッターをきる	14
カメラの構え方	15

フィルムを入れる	16
撮影する (全自動撮影)	18
緑ランプについて	19
フィルムを取り出す	20
電池を交換する	21

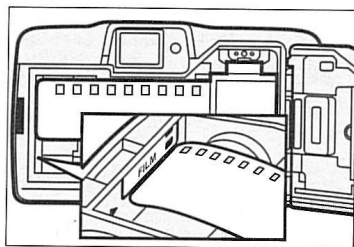
応用編

フォーカスロック撮影	22
(写したいものをファインダーの端に置いて撮影する)	
AiAFについて	23
パノラマモード撮影 	24
パノラマプリントについて	25
日付/時刻を写し込む DATE	26
日付/時刻をセットする	27
ストロボモードを変える	28
赤目緩和撮影機能について	29
①ストロボオート/赤目緩和  AUTO	30
(暗いときは自動的に赤目緩和ランプを点灯し、ストロボを発光させる)	
②ストロボオート/赤目緩和なし AUTO	31
(暗いときは自動的にストロボを発光させる)	
③ストロボONモード 	32
(明るい場所でストロボを発光させる)	
④ストロボOFFモード 	33
(暗い場所でもストロボを発光させない)	
⑤セルフタイマー 	34
スローシンクロについて	35

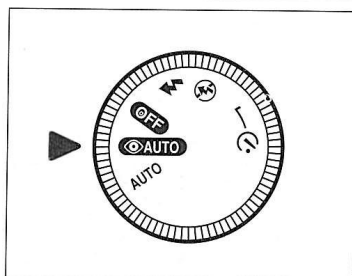
資料編

こんなときは	36
Q&A	37
主な仕様	38
アフターサービスについて	裏表紙

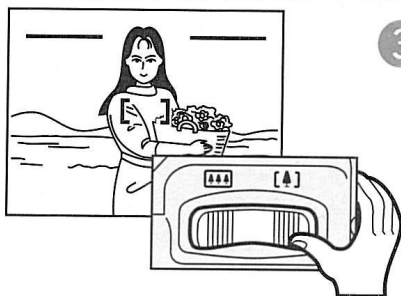
操作早わかり 詳しくは説明のページをご覧ください。



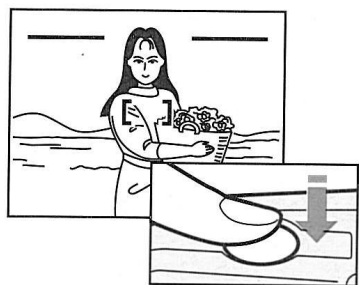
- 1 フィルムを入れる。** →16ページ
- フィルム先端を先端マークに合わせます。



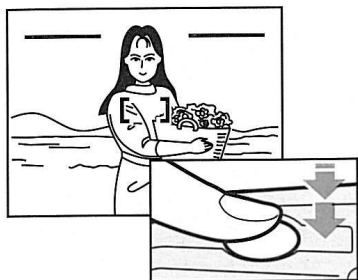
- 2 モードダイヤルを**
● AUTO に合わせる。 →10ページ
- 電源が入り、レンズがセットされます。



- 3 写したいものの大きさを決める。** →13ページ
- パノラマ写真を撮るときは →24ページ
 - 日付/時刻を写し込むときは →26ページ



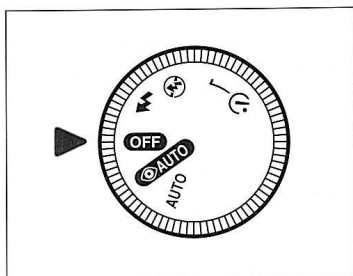
- 4 シャッターボタンを軽く押す。** →14ページ
- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。
 - 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- 暗いところでは赤目緩和ランプが点灯します。



5 そのままさらに
シャッターボタンを押す。

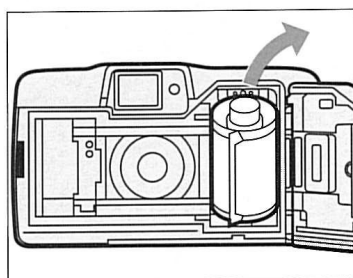
→14ページ

- 暗いところではストロボが自動的に発光します。
- 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間は、シャッターがきけません。



6 モードダイヤルを
OFF に合わせる。

→10ページ



7 撮影が終わり、
フィルムが巻戻ったら
フィルムを取り出す。

→20ページ

各部の名称

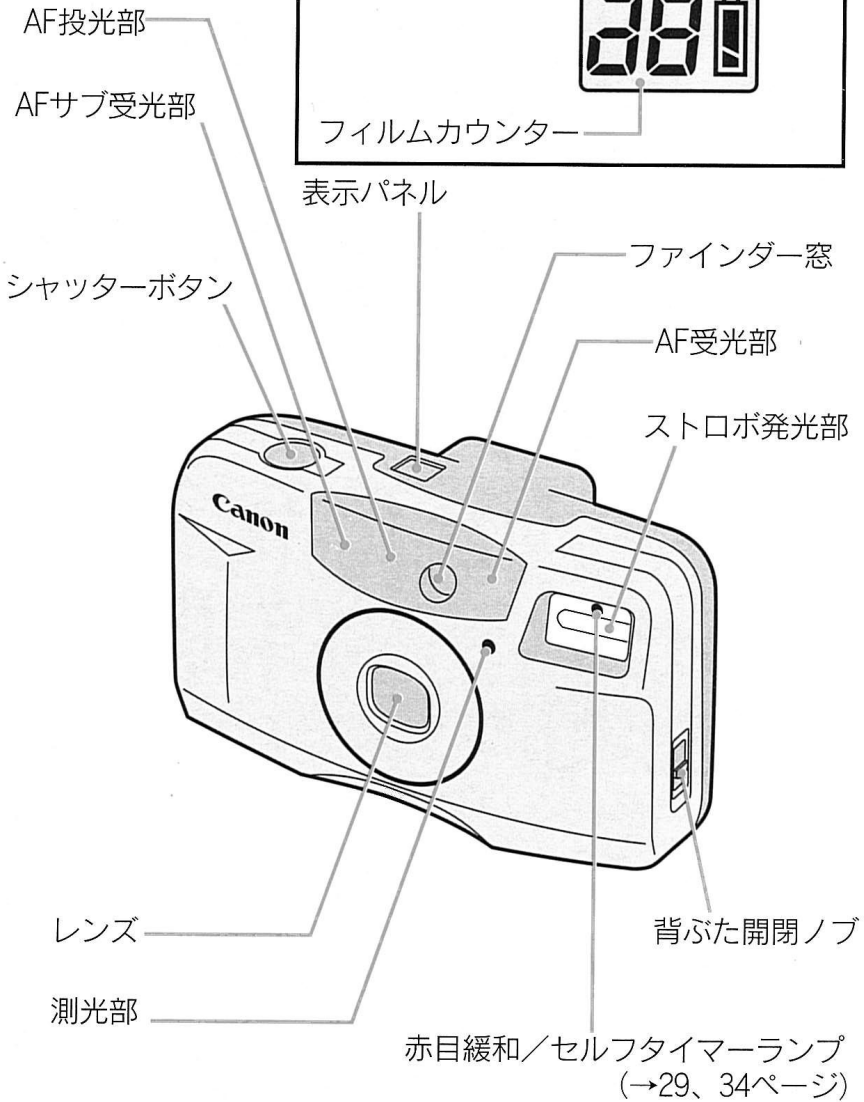
通常は必要な情報だけが表示されます。

電池残量表示





フィルムカウンター

表示パネル



赤目緩和/セルフタイマーランプ
(→29、34ページ)

モードダイヤル (→28ページ)

 (広角) /  (望遠)ズームレバー
(→13ページ)

緑ランプ (→19ページ)

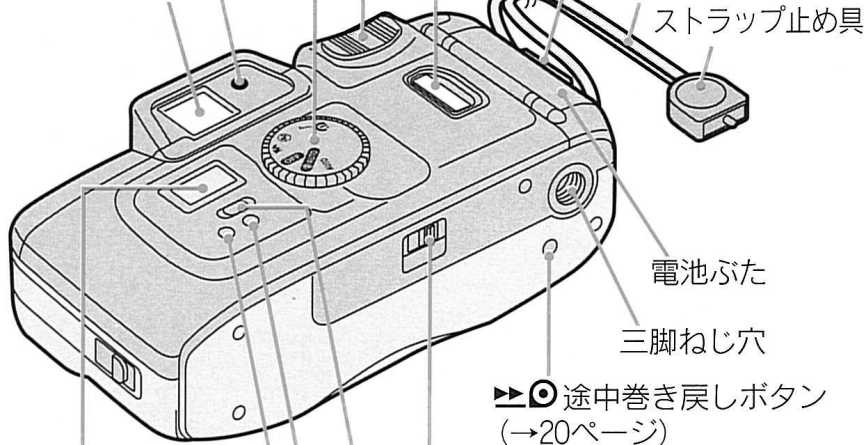
フィルム確認窓

ストラップ取付部

ファインダー


ストラップ


ストラップ止め具



電池ぶた

三脚ねじ穴

 途中巻き戻しボタン
(→20ページ)

 パノラマ/標準切替ノブ (24ページ)

モードボタン (デート切替)

セットボタン (デート数値セット)

セレクトボタン (デート修正位置選択)

デート表示パネル (→26ページ)

通常は必要な情報だけが表示されます。

日付写し込み表示

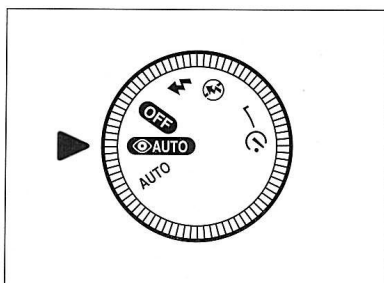


カメラに慣れよう

1 電源を入れる、切る

モードダイヤルをOFF以外に合せば、電源が入り、撮影ができます。

電源を入れる



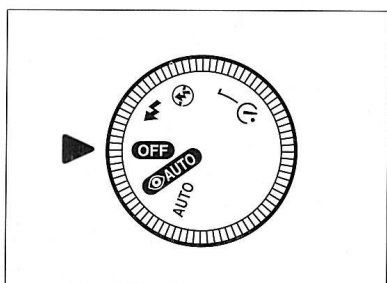
モードダイヤルを
OFF 以外に合わせる。
→レンズがセットされます。



- レンズははじめ広角38mmにセットされます。
- レンズがセットされないときは、正しく電池が入っているかを確認してください。
- レンズを手で押さえないでください。

電源を切る

レンズを保護するために、撮影が終わったら電源を切ってください。

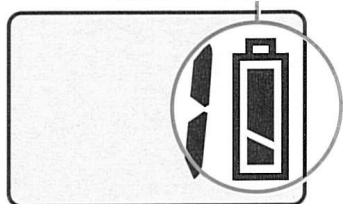


モードダイヤルを
OFF に合わせる。
→レンズが本体に収納されます。




電池をチェックする

電源をいれたとき表示パネルに  が表示されていることを確認してください。

電池チェックマーク



電池チェックマーク

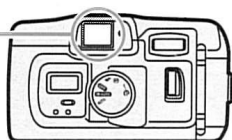
-  ……電池は使用できます。
-  ……新しい電池を用意してください。
-  ……新しい電池と交換してください。(21ページ)



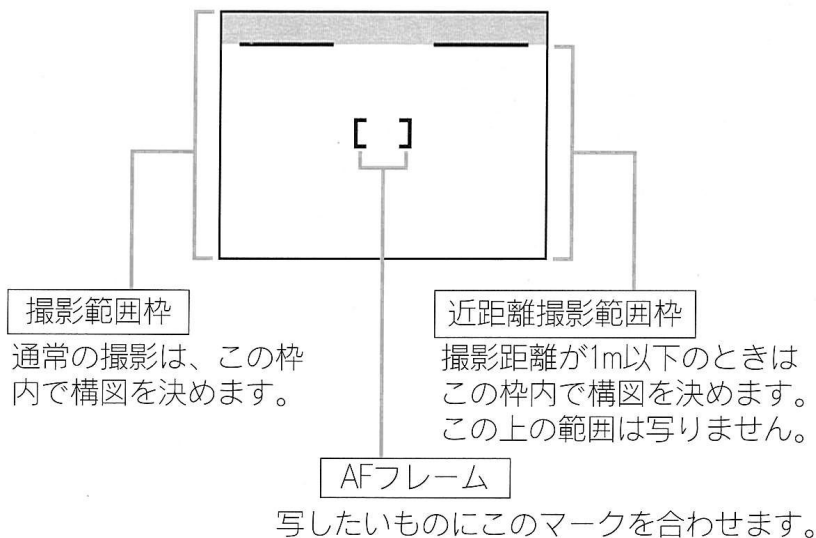
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮るときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- 24枚撮りのフィルムで17本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が目安です。

2 ファインダーをのぞく

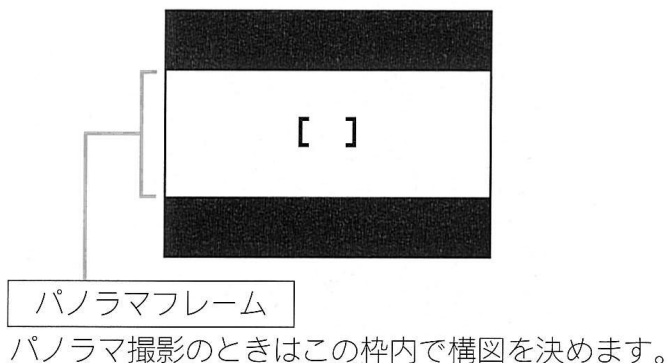
ファインダー



標準撮影のとき。



パノラマ撮影のとき (24ページ)

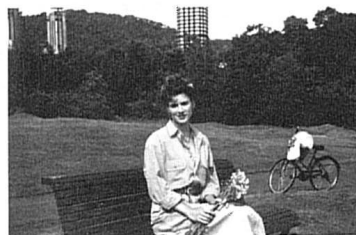


3 写したいものの大きさを決める

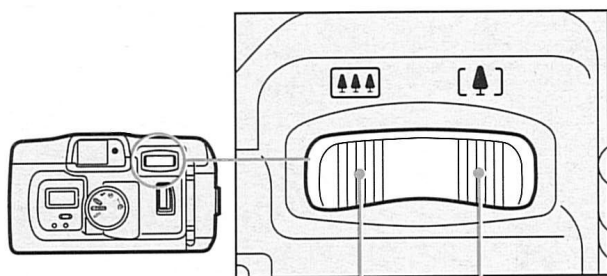
ズームレバーを押して写したいものの大きさを自由に変えて構図を決めることができます。



38mm (広角)



60mm (望遠)



広い範囲を
写したいとき

写したいものを
大きくしたいとき

▲▲▲ (広角側) を押す。

風景や集合写真を撮影するときなどに使用します。

▲ (望遠側) を押す。

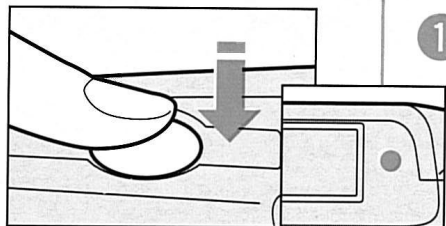
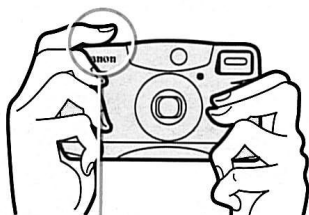
人物をアップで撮影するときなどに使用します。



● ズームレンズ（鏡筒）は繰り出されたまま約4分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され、広角（38mm）にセットされます。

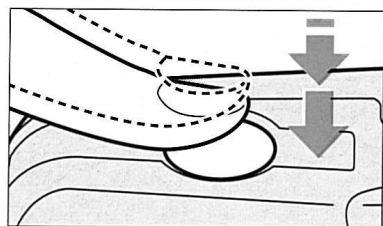
4 シャッターをきる

シャッターボタンは二段階になっています。



① シャッターボタンを軽く押す

- シャッターボタンは押しただままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。



② そのままさらにシャッターボタンを押す。

- ➔ シャッターがきれます。
- ゆっくり、静かに押ししてください。



● 赤目緩和ランプが点灯してから、約1秒間はシャッターがきれません。

カメラの構え方

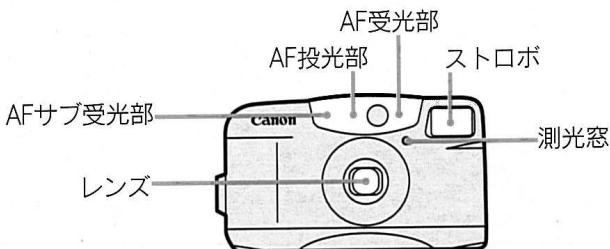
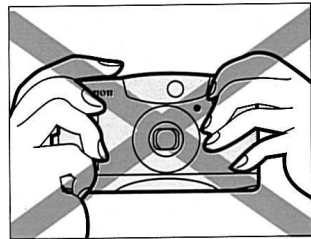
シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光部、AFサブ受光部、測光部、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。

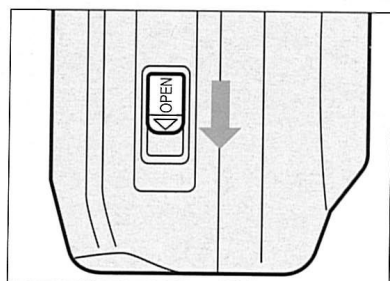
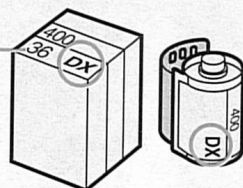


フィルムを入れる

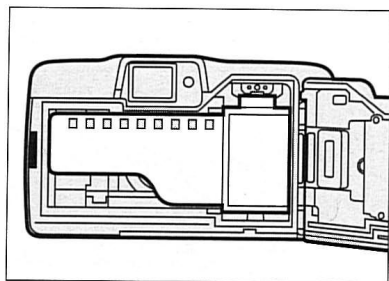
準備

- DXマークのついたフィルムを用意してください。また、撮影できる枚数を確認してください。

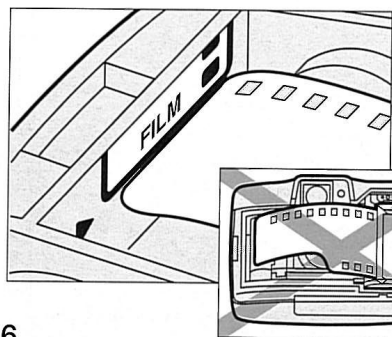
撮影枚数



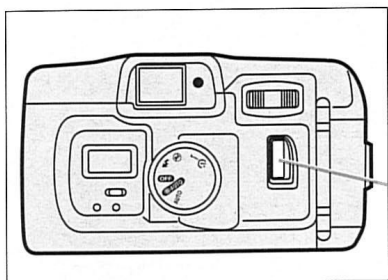
- 1 背ぶた開閉ノブを押し下げる。
→背ぶたが開きます。



- 2 フィルムを入れる。

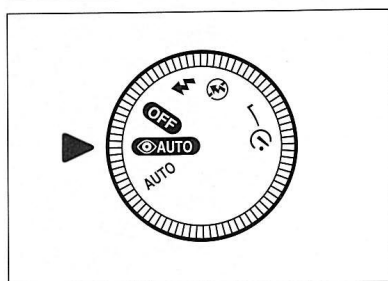


- 3 マークの位置までフィルムを引き出す。
●フィルムがたるまないように引き出します。



4 背ぶたを閉じる。

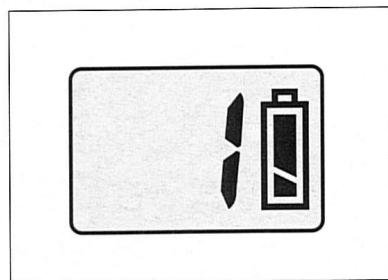
フィルムが入っていることを確認
できます。



5 モードダイヤルを OFF 以外に合わせる。

(電源を入れる)

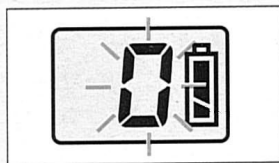
→フィルムが送られます。



6 フィルムカウンターに 「1」が表示される。



- フィルムカウンターの「0」が点滅するときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。

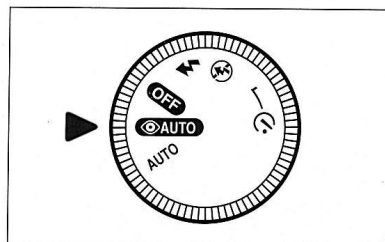


- 使用するフィルムはフィルム感度ISO400をおすすめします。

撮影する（全自動撮影）

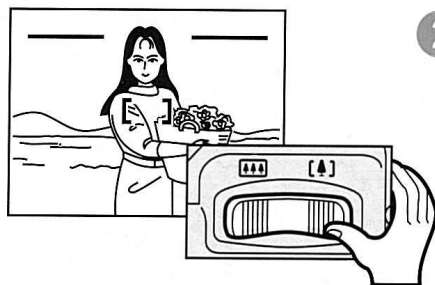
中抜けしにくいAiAF機能ですから、中央部から写したいものが多少ずれてもピントが合います。

また、全自動撮影では暗いところで撮影すると自動的にストロボが発光します。30ページもご覧ください。



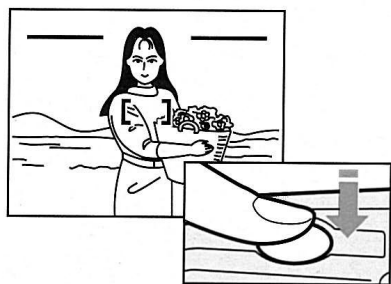
1 モードダイヤルを AUTO に合わせる。

➔電源が入り、レンズがセットされます。



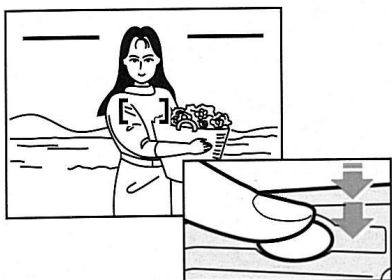
2 写したいものの 大きさを決める。

●ファインダーをのぞきズームレバーを押して、構図を決めます。



3 AFフレームを合わせ シャッターボタンを 軽く押す。

●シャッターボタンを軽く押したままにしてください。
●緑ランプが点灯したことを確かめます。
➔暗いところでは赤目緩和ランプが点灯します。



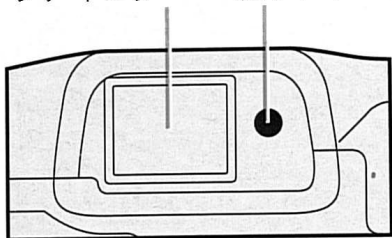
4 そのままさらにシャッターボタンを押す。

- 暗いところではストロボが自動的に発光します。
- ➔ 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれません。

緑ランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。

ファインダー 緑ランプ



- 点灯……………ピント合わせ完了 (撮影準備完了)
- 遅い点滅 (4回/秒) ……近距離警告※1
- 速い点滅 (16回/秒) ……手ぶれ警告 (ストロボOFF時) ※2

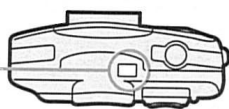
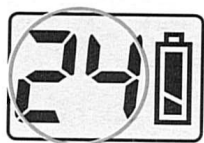


※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。

※2 ● 手ぶれ警告が出たら、三脚などの使用をおすすめします。

フィルムを取り出す

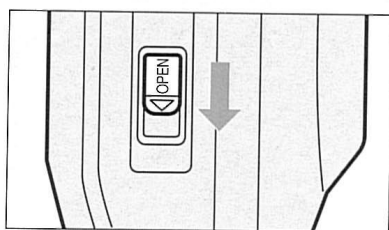
セットしたフィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻ります。



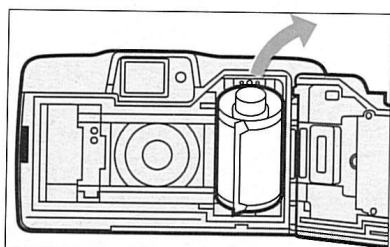
巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。



巻き戻しが終了すると、フィルムカウンターが「0」になり点灯します。



- 1 背ぶた開閉ノブを押し下げる。
→背ぶたが開きます。



- 2 フィルムを取り出す。


フィルムを最後まで撮り終える前に取り出すには

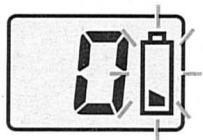
- フィルム途中巻き戻しボタンを押します。



- 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。また、日付や時刻の写し込みがされない場合があります。

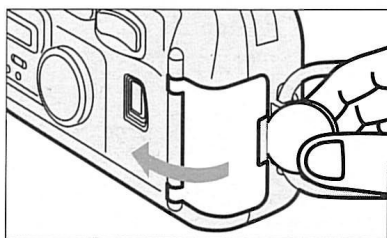
電池を交換する

表示パネルに  が点滅したときは、電池を交換してください。



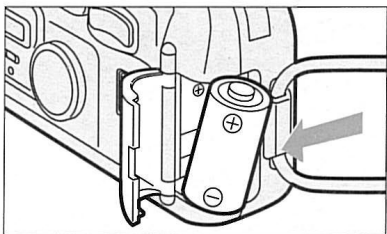
[使用電池]

リチウム電池 (CR123AまたはDL123A,3V) 1個使用



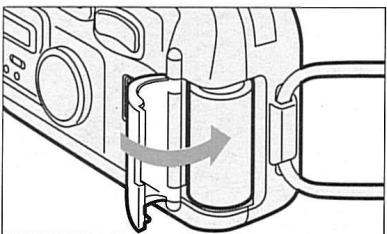
1 電池ふたを開く。

- コインなどをみぞの部分に差し込んで開きます。




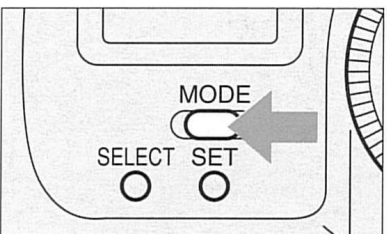
2 新しい電池を入れる。

- 古い電池を取り出し＋を正しく合わせて入れます。



3 電池ふたを閉じる。

- パチッと固定される音を確かめて閉じます。
- 表示パネルに  が表示されます。



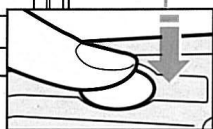
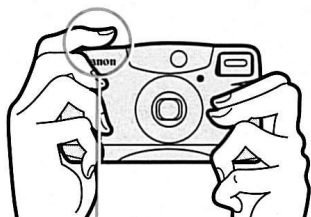
4 日付と時刻を合わせる。

→26ページ

- 表示パネルの日付が「'94 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。

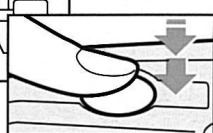
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端に置いて撮影するときはフォーカスロック撮影をします。



① AFフレームを合わせ
シャッターボタンを
軽く押す。

- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。



② 軽く押したまま
構図を決め、
シャッターボタンを押す。



- 構図を決めたあとに撮影距離を変えたり、ズームをしたときは、ピントが変わりますのでやり直してください。

AiAFについて

AI=Artificial Intelligence:人工知能、AF=オートフォーカス

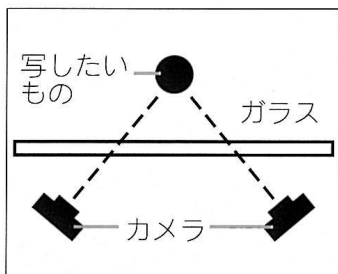
AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせる場所を的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。



- 写したいものが中央部分になくても、シャッターボタンを押すだけで写したいものにピントを合わせます。



- 写したいものの手前に障害物があった場合にも的確に写したいものを選びピントを合わせます。

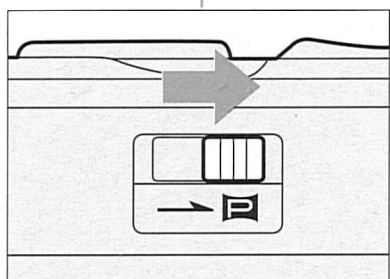
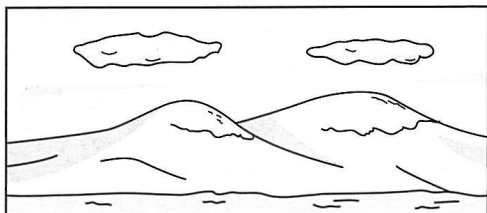
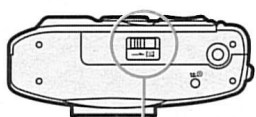


- ガラス越しの撮影にもガラス面にピントを合わせることなく写したいものにピントを合わせます。ガラス越しで撮影するときは、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影してください。

パノラマモード撮影

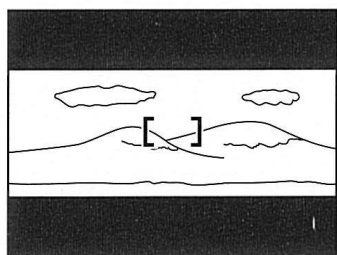
風景や集合写真を撮影するときに効果的です。パノラマモード撮影のときは1m以上離れてください。

底面



① パノラマ側にスライドさせる。

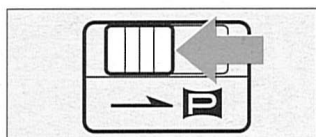
→ファインダー内にパノラママスクが出ます。



② 構図を決め、シャッターをきる。

パノラママスク

標準モードに戻すとき



元の位置に戻す。

●パノラママスクが消えます。



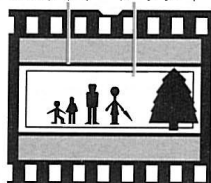
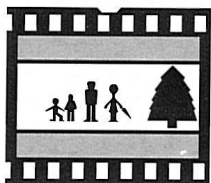
●パノラマモードでも日付や時刻を写し込むことができます。



パノラマプリントについて

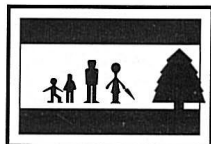
ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ（89×254mm）に引き伸ばすものです。

写し込まれる範囲 プリントされる範囲



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下をカットした形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。

パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモードで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマモード撮影をしたとき、通常の現像・プリントとは異なります。添付のパノラマシールを貼って、現像／プリントを依頼すると便利です。

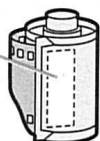


パノラマモード、標準モードの両方で撮影したとき



パノラマモードで撮影したとき

パノラマシール
貼り付け位置



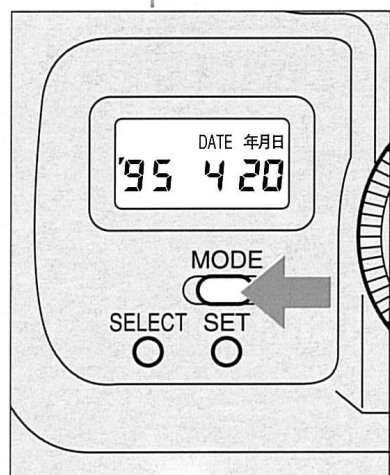
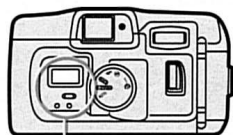
- DXコードおよびバーコードにかからないように貼ってください。
- パノラマシールが無くなりましたら、裏表紙のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。



● パノラマモード撮影したときは通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかることがあります。

日付／時刻を写し込む

撮影した日付や時刻を写真の右下に写し込むことができます。2029年までのオートカレンダーが組み込まれ、撮影のたびに日付をセットする必要はありません。パノラマ写真にも同様に写し込むことができます。



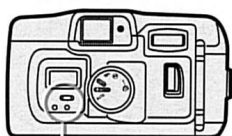
モードボタンを押す。

➡押すたびに表示が変わります。

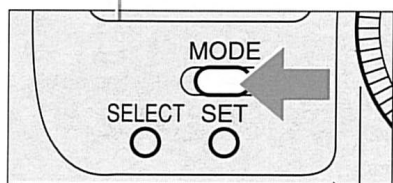


●いずれかを選び、撮影します。

日付／時刻をセットする。

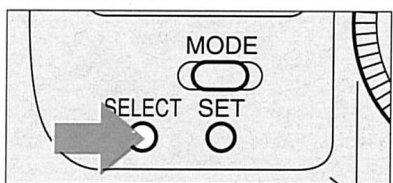


海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにセットし直してください。



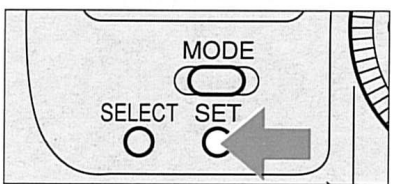
1 モードボタンを押す。

- 修正する日付(時刻)を表示させます。



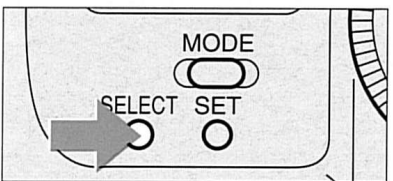
2 セレクトボタンを押す。

- 修正する数字を点滅させます。

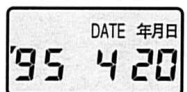


3 セットボタンを押す。

- 正しい数字をセットします。



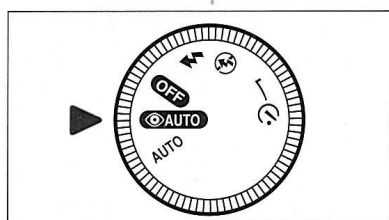
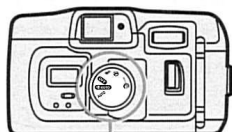
4 すべての数字が点灯するまで、セレクトボタンを押す。



- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「'94 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してしてください。

ストロボモードを変える

ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。写したいものや撮影場所に合わせて、撮影モードを選ぶことができます。



モードダイヤルを回して、撮影モードを合わせる。

- | | | |
|--------------|---------------------|-------|
| OFF | | 電源OFF |
| 📷AUTO | ストロボオート/赤目緩和..... | 1 |
| AUTO | ストロボオート/赤目緩和なし..... | 2 |
| ⚡ | ストロボON..... | 3 |
| ⚡/ | ストロボOFF..... | 4 |
| 🕒 | セルフタイマー..... | 5 |
- 電源ON

ストロボの届く距離

フィルム感度	38mm (広角)	60mm (望遠)
ISO 100	0.6m~4m	0.6m~2.7m
ISO 400	0.6m~8m	0.6m~5.4m

(カラープリント用フィルム使用時)

赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といい、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

赤目緩和モード **ⓈAUTO** ではストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで赤目現象の発生を緩和します。



- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間はシャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはモードダイヤルで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。

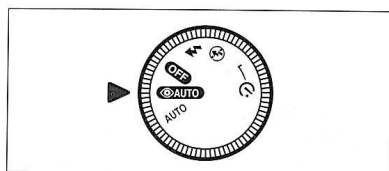


赤目緩和機能で撮影するときの注意

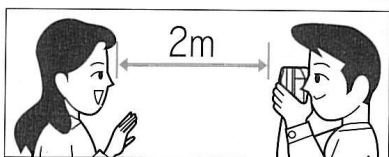
1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影してください。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影してください。
5. 室内はできるだけ明るくしてください。

1 ストロボオート／赤目緩和…

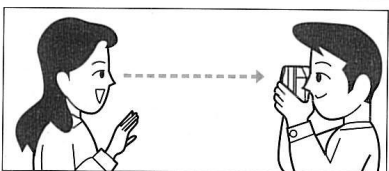
ふだん、人物を撮影するときは、このモードにします。暗いときは、自動的に赤目緩和ランプが点灯した後、ストロボが発光します。



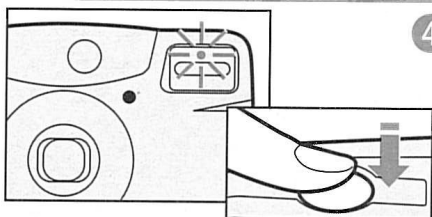
- 1 モードダイヤルを回して、撮影モードを  に合わせる。



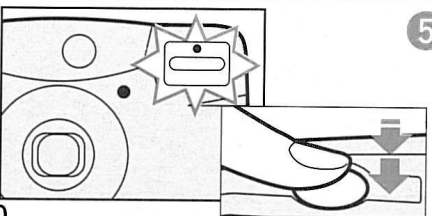
- 2 写したいものに2m程度まで近づく。
● 赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



- 3 声をかけてカメラを注視してもらう。
● 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。



- 4 シャッターボタンを軽く押す。
⌞ 赤目緩和ランプが点灯します。このとき、約1秒間はシャッターがきれません。
● シャッターボタンは押したままにしてください。

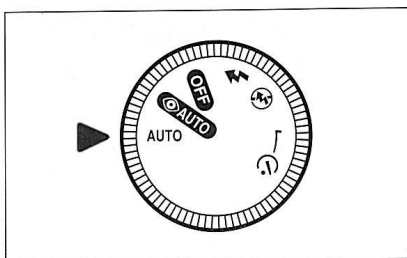


- 5 約1秒間が過ぎたらさらにシャッターボタンを押す。
⌞ ストロボが発光しシャッターがきれます。

ストロボモードを変える

2 ストロボオート／赤目緩和なし…AUTO

暗いときは、自動的にストロボが発光します。
人物以外の撮影をする時、または人物を撮影する場合でも
赤目緩和機能を使用せずにすぐにシャッターをきりたいと
きは、このモードにします。

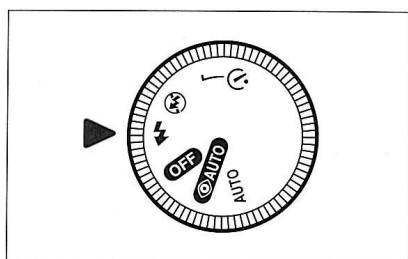


モードダイヤルを
回して AUTO に
合わせる。

3 ストロボONモード…………… ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。

日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときは、このモードにします。



モードダイヤルを
回して ⚡ に合わせる。

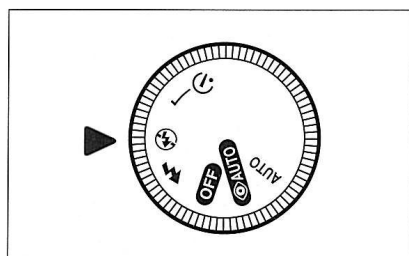
ストロボモードを変える

4 ストロボOFFモード……………

撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
室内照明を利用したの撮影をするときは、このモードにします。



応用編



モードダイヤルを
回してに合わせる。

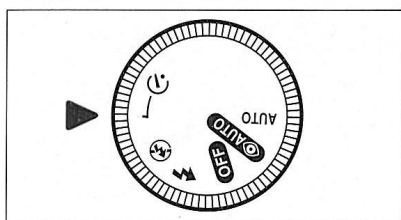


- 暗い場所で「ストロボOFFモード」では、シャッタースピードが遅くなるので手ぶれに注意してください。
- 手ぶれ警告で緑ランプが速く点滅（16回/秒）したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚を利用してください。

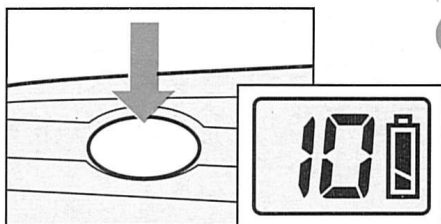
5 セルフタイマー……………



セルフタイマーは明るいところでは「ストロボオート／赤目緩和」、暗いところでは自動的にスローシンクロで撮影されます。カメラはしっかりとした台の上に置くか、三脚を利用してください。



- ① モードダイヤルを回してに合わせる。



- ② 構図を決めて、シャッターボタンを押す。

→セルフタイマーランプが点滅（1回／秒）し、約10秒後にシャッターが切れます。本体表示パネルでカウントダウンします。

セルフタイマーを途中でやめたいとき

- モードダイヤルを回して、他のマークにする。



- セルフタイマーランプは、シャッターが切れる約2秒前に点滅から点灯に変わります。
- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。

スローシンクロについて



夕暮れや、夜景などを背景にして人物を撮影するときには効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



- スローシンクロのときにも赤目緩和機能がはたらきます。
- スローシンクロでは、シャッタースピードが遅く（約1/4秒）なりますので、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにするときれいに撮れます。
- 夕暮れや夜景など暗い所でセルフタイマーを使用した時も、自動的にスローシンクロモードになります。

こんなときは

「故障かな」と思っても、修理に出す前に、もう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
 電池チェックマークが点滅する	● 電池が消耗している	● 電池を交換する	21
 電池チェックマークが表示されていない	● 電池がはいついていない ● 電池が逆向きにはいつている ● 電池が完全に消耗している	● 電池を入れる ● 電池を正しく入れ直す ● 電池を交換する	21 21 21
シャッターが切れない	● モードダイヤルが OFF になっている。 ● 電池が消耗している ● フィルムが正しくセットされていない ● 巻き戻しされたフィルムがカメラに入っている ● 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。	● 撮影条件に合わせてモードダイヤルを合わせる ● 電池を交換する ● フィルムを正しく入れ直す ● フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする ● シャッターが切れるまで押し続ける ● ストロボモードを切り換える	10,28 21 16 16 29 28
写真がボケて写っている	● シャッターを切るときに、AF受光/投光部をおおっていた ● セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した ● シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ）	● 髪や指などでAF受光/投光部をおおわないように気をつける ● カメラの直前に立たないように気をつける ● シャッターボタンを静かに押す	15 34 14
表示パネルに「E」が表示される	● リセット必要時の自己診断表示	● 電源をいれなおす（点滅が消えないときは）修理にお出してください	10

Q&A

Q1 リバーサルフィルムは使えますか？

A1 はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルムISO25、50、100、200、400、800、1600、3200のものを使用してください。

Q2 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A2 フィルムが光を感じる度合を数字で表わしたもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO400のフィルムをお勧めします。

Q3 DXマークのないフィルムは使えますか？

A3 はい、使うことができます。ただし、DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。フィルム感度ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じ1回シャッターボタンを押してください。

Q4 写真に写込まれた日付が読みにくいのですが？

A4 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものができるようにしてください。また、黄色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q5 撮影しているレンズの焦点距離を知りたいのですが？

A5 レンズ本体 (鏡筒) に38、45、52、60mmの表示がありません。

主な仕様

- 形式……………ズーム内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
画面サイズ……………24×36mm (標準サイズ) 13×36mm (パノラマサイズ)
レンズ……………キヤノンレンズ 38-60mmF4.5-6.7
焦点調整……………Aiアクティブオートフォーカス
撮影距離……………0.6m~∞
シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー……………実像式ズームファインダー 倍率: 広角0.45倍 望遠0.63倍
ファインダー情報…ファインダー内: 撮影範囲枠、近距離撮影範囲枠、
パノラママスク、AFフレーム
ファインダー接眼部…撮影OKランプ兼近距離警告/手ぶれ警告 (緑ランプ)
フィルム装填……………自動 (自動空送り付き)
フィルム巻き上げ…自動
フィルム巻き戻し…自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター…順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
フィルム在否確認…背蓋フィルム確認窓あり
セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、ボディ正面セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン
測光作動範囲 (ISO 100) ……
全自動モード/ストロボモード:
広角: 1/40 f/4.5~1/500 f/16 (約EV10~EV17)
望遠: 1/60 f/6.7~1/400 f/18 (約EV11.5~EV17)
ストロボOFFモード:
広角: 2秒 f/4.5~1/500 f/16 (約EV3.4~EV17)
望遠: 2秒 f/6.7~1/400 f/18 (約EV4.7~EV17)
セルフタイマー (全自動):
広角: 1/40 f/4.5~1/500 f/16 (約EV6~EV17)
望遠: 1/60 f/6.7~1/400 f/18 (約EV6~EV17)
セルフタイマー (スローシンクロ):
広角: 1/4 f/4.5
望遠: 1/4 f/6.7

フィルム感度……………ISO 25～3200、DXコードにより1段ごとに自動セット

内蔵ストロボ……………低輝度自動発光式内蔵型ストロボ

ストロボ連動範囲…広角：0.6～4m 望遠：0.6～2.7m

(カラープリント用フィルムISO 100使用時)

広角：0.6～8m 望遠：0.6～5.4m

(カラープリント用フィルムISO 400使用時)

ストロボ充電時間…約4秒

ストロボ切り換え…切り換えボタンによる

1 赤目緩和付きオートモード：低輝度自動発光

2 赤目緩和無しオートモード：低輝度自動発光

3 ストロボONモード：常時発光

4 ストロボOFFモード：発光禁止

5 セルフタイマーモード：低輝度自動発光

(スローシンクロあり)

写し込み機能……………方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）

時計機構：常温20度以下で月差±120秒以下

写し込みデータ……………デート（4通り）

文字形式……………6×7のドットマトリックスによる

写し込みの色……………オレンジ色

電源……………リチウム電池 CR123AまたはDL123A 3V 1個

パノラマモード撮影…パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数……………24枚撮りフィルム 17本（ストロボ50%使用時）

大きさ……………121（幅）×68（高さ）×444（奥行）mm

重量……………230g（カメラ用電池別）

●ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

●都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- 2 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108 東京都港区三田3-12-15(東急三田ビル8F)

◎カメラ相談センター(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F) ☎(03)3455-9353

◎サービスセンター(修理サービスご相談窓口)

札幌・〒060	札幌市北区北七条西1-1-2 (SE山京ビル1F)	☎(011)728-0665
仙台・〒980	仙台市青葉区一番町1-1-30 (やまと生命ビル2F)	☎(022)266-9851
新潟・〒950	新潟市紫竹山1-10-26	☎(025)246-8765
大宮・〒331	大宮市桜木町4-247 (OSビル1F)	☎(048)649-1450
千葉・〒260	千葉市中央区末広2-13-2	☎(043)268-5261
銀座・〒104	東京都中央区銀座5-9-9	☎(03)3573-7834
新宿・〒163-02	東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1F)	☎(03)3348-4725
横浜・〒220	横浜市西区北幸2-6-26 (HI横浜ビル2F)	☎(045)312-0211
静岡・〒420	静岡市常盤町2-6-8 (トーカイビル3F)	☎(054)253-9010
名古屋・〒461	名古屋市中区東桜2-2-1 (高岳パークビル1F)	☎(052)939-1830
金沢・〒921	金沢市玉鉾2-266	☎(0762)91-8710
京都・〒604	京都市中京区烏丸通二条下ル秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル2F)	☎(075)255-5953
梅田・〒530	大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル別館)	☎(06)373-8181
神戸・〒651	神戸市中央区雲井通り4-2-2 (神戸いすゞビル8F)	☎(078)291-0535
岡山・〒700	岡山市柳町2-6-25 (朝日生命岡山柳町ビル3F)	☎(086)221-8678
広島・〒730	広島市中区大手町3-7-5 (広島パークビル1F)	☎(082)240-6712
高松・〒760	高松市紺屋町4-10 (鹿島紺屋町ビル1F)	☎(0878)23-4681
福岡・〒812	福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル1F)	☎(092)411-4173
沖縄・〒900	那覇市松山1-1-19 (安田生命那覇ビル8F)	☎(098)866-7933

東京・カメラ技術センター

東京・〒140 東京都品川区東品川1-2-5 (東信天王洲ビル5F) ☎(03)3450-2731

大阪・カメラ技術センター

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3 (大阪研修センター1F) ☎(06)941-1076

◎営業所

大分・〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975)37-4117

名古屋・〒461 名古屋市中区東桜2-2-1 (高岳パークビル6F) ☎(052)939-1802

◎休業のご案内

新宿(日曜日、祝日、第3木曜日)その他(土・日曜日、祝日)

◎営業時間のご案内

新宿: 10:00~18:30 梅田: 9:30~18:00 その他: 9:00~17:30